



天文資料

2024年1月号

令和5年度 第10号 (1月号)

令和5年12月25日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<きらびやかな冬の空>

冬の星座たちが宵の空でよく目立つ

季節になりました。冬の星座には明るい

星が多く、夜空がとてもきらびやかです。

三大流星群の一つであるしぶんぎ座

流星群の極大は、1月4日の夕方です。

日本では4日未明と5日未明が観察の

チャンスとなりますが、下弦を過ぎた月の

影響があります。

日の入り後の空には土星、木星が見

え、中旬にはこの2惑星に月が近づく様

子を観察することができます。日の出前

の空には金星、水星が見えます。水星

は、12日に西方最大離角となります。

1日 元日

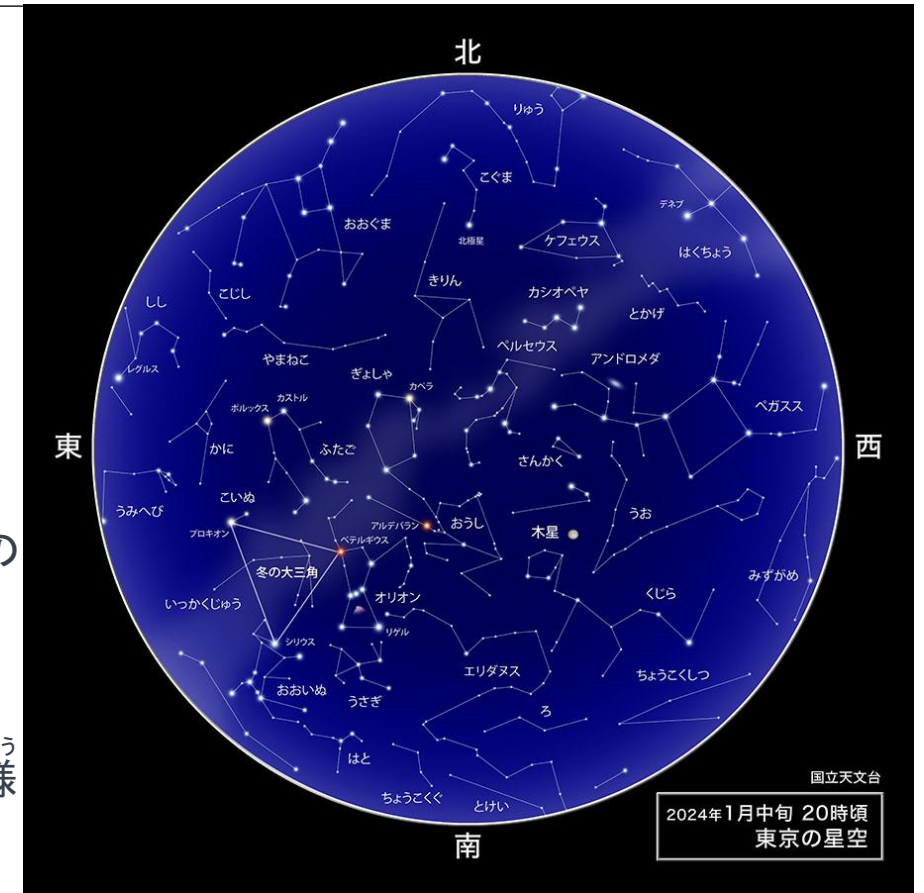
3日 地球が近日点通過

4日 下弦

しぶんぎ座流星群が極大(18時頃)

6日 小寒(太陽黄経285度)

8日 成人の日



11日 新月

12日 水星が西方最大離角

18日 土用の入り

(太陽黄経297度)/上弦

20日 大寒(太陽黄経300度)

26日 満月

天体観望会のお知らせ...木星・月・冬の星座

1月20日(土)18:00~ (1月10日(水)から受付開始)

電話予約制(23-1517) 定員50名

観覧料:小中学生150円、高校生以上320円

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。

